

鮎遡上最盛期！

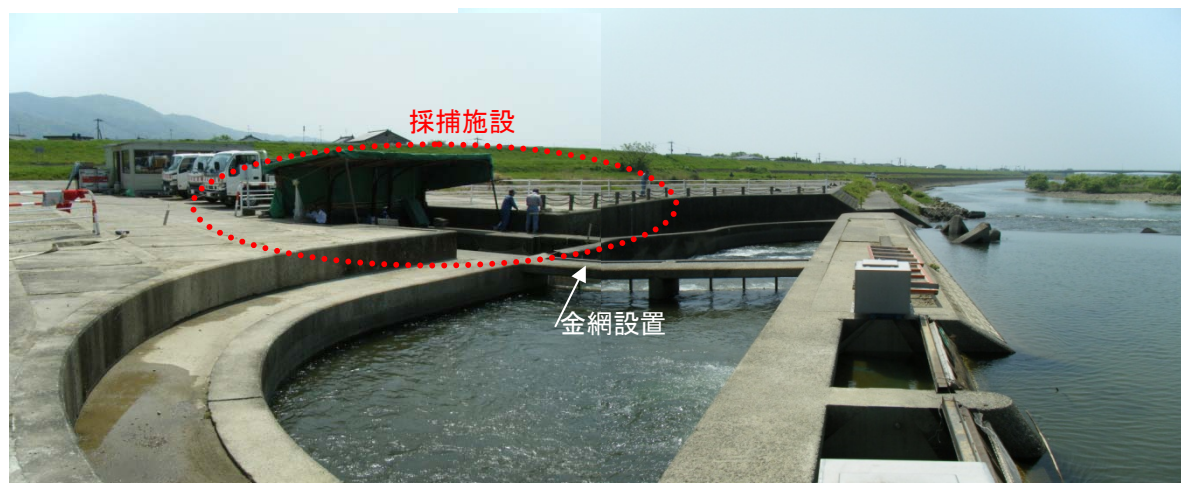
～くまがわ百景～

毎年、3月になると鮎が海から川に上がってきます。球磨川堰左岸部に設置されている稚鮎採捕施設にて採捕されている状況について紹介します。採捕された稚鮎は専用トラックで上流に運搬し、放流されます。今年(平成24年)は、昨年より豊漁で約200万匹のすくい上げ量がありました。すくいあげられた鮎は、上流にトラックで運搬され、放流されます。



魚道を上った鮎は上流で金網により遡上が遮られ、右側の側壁の切り欠き部に入りこみ、採捕用の網の中に入り込みます。稚鮎は干潮時には遡上せず、満潮時前後の時間帯に頻繁に遡上します。

採捕場に入りこんだ稚鮎



球磨川堰左岸部に設置された魚道(階段式)、鮎採捕場が隣接されています。



球磨川堰

鮎遡上最盛期！

～くまがわ百景～



10時～16時まで採捕された鮎はゆっくり網を狭められます。



集まれた鮎はタモですくい、バケツに移し、速やかにトラックのいけすに入れます。(天ぷらにしたら最高に美味！！)



トラックには酸素ポンプと水温維持のための氷が備えてあります。